



地域のかお シリーズ104

「民生委員はいつもあなたのそばに！」



広瀬地区民生委員児童委員協議会

会長 坂元 良知



○ こんにちは！私たち民生委員はいつもあなたのそばにいます。そして、民生委員は児童福祉法で児童委員も兼ねているんです。

佐土原町内には、「佐土原・那珂地区」「久峰地区」そして「広瀬地区」の3つの民生委員児童委員協議会があり、それぞれが担当の地区で活動し、共同で研修会などを開催して研鑽しあっています。現在、広瀬地区には16名の委員があり、そのうち2名は児童福祉を専門的に担当しています。

私たち民生委員児童委員は「**支えあう 住みよい社会 地域から**」を全国的な活動スローガンとしており、主な活動としては、①民生福祉活動②高齢者福祉活動③児童福祉活動などがあります。それぞれの民生委員が活動するエリアは自治会区とほぼ同じですが、なかには複数の自治会区を担当している委員もいます。児童福祉については、自治会・学校・親子会（PTA）・地域づくり協議会などとも連携しながら「児童の健全育成」を目的に活動しており、①児童虐待の早期発見、早期対応と子どもの安全確保②課題を抱えている家庭や孤立した子育て支援策等の活動推進③学校、関係機関等との連携強化の取り組みなどを目標としています。

このように目的・目標は高く掲げていますが、民生委員児童委員は決してスーパーマンではなく、ごく普通の人です。でも、住民の皆さんのためを思う気持ちは強く持っており、部外の講師を招いて講座や研修会で知識や技能を高めたり、宮崎市福祉課や社会福祉協議会、包括支援センターなどの関係団体と意見交換をしたりして、住民の皆さんに「寄り添い」問題が起きたら必要な期間に「つなぐ」ことに努めています。



児童委員としての身近な活動としては、それぞれの担当地区や地域づくり協議会、小・中学校とも協力しながら、交差点での登下校時の児童生徒の見守り活動、青パトによるパトロール活動などを行っています。朝「おはよう」と声をかけると「おはようございます」、午後は「こんにちは、お帰り」と声をかけると「こんにちは」と元気で明るい声が返ってきて爽やかな気持ちになります。

しかし、佐土原町内は表通りの歩道も場所によっては狭い所がありますし、裏通りはほとんどが狭く交通量も多いです。登下校する子どもたちには危険がたくさん潜んでいますので、黄色い交通安全の旗を振りながら「気を付けてね」と声を掛けています。道路の拡張、特に歩道の拡張による子どもたちの安全確保が強く望まれるところですが、用地の確保等多大な困難があるでしょうから、将来に向けての施策に期待するところです。

私たち民生委員児童委員の活動はさほど目立つことはないでしょうが、いつも皆さんのそばにいて「見守り」していますので、気軽に声を掛けてください。私たちの住む佐土原町が明るく、住みやすく、安全な街になるように皆さんと一緒に活動していきたいと願っています。

「民生委員はいつもあなたのそばにいますよ！」

地震発生！

重要「大地震・大津波発生時の児童引き渡し」について

1. 揺れを感じたら、直ちに低い姿勢をとり、机の下などに身を隠す。
2. 揺れがおさまったら、一次避難所の館庭に避難する。
3. 津波発生の恐れがある場合、2次避難所の「佐土原総合文化センター」に誘導し避難する。

2次避難所へ避難した場合、児童館の門扉に表示します。その場合は、「佐土原総合文化センター」へお迎えをお願いします。

「佐土原総合文化センター」で児童を保護者に引き渡し。

※ 万一の場合に備えて、普段から家族みんなで話し合っておきましょう！

